

## 新型コロナウイルス感染症対策

### 保健所の体制強化

**代表質問:** 県民から検査が受けられない、保健所から連絡が来ない、更にはクラスター認定が遅れているなどといった声が相次いでいる。保健所職員による健康観察、入院調整、電話対応等の業務は負担が大きすぎる。保健所の体制について第5波の後にどのように強化してきたのか?

**熊谷知事答弁:** 全庁からの応援体制の構築とともに人材派遣会社を活用して人員体制の強化を図った。1月以降は各保健所に県職員を増員して1日あたり最大で185名派遣するとともに、県内20市から応援職員を1日あたり最大で34名派遣していただき順次体制強化した。新規陽性者数

が想定を大幅に超えたことから、携帯電話へのショートメッセージを活用して療養に必要な情報を速やかに提供するシステム運用を開始。

### 検査体制の充実

昨年6月水野ゆうきの代表質問にて検査体制の拡充を求める質問に対し副知事は「過去最大規模の新規感染者数が生じた場合も十分に検査できるよう4月に県の検査体制整備計画を見直した」と答弁された。しかし、実際には検査が追い付いていない状況。改めて検査体制を見直し、県民の不安が払しょくされるよう、不安を持つ県民が検査を受けられる対応を要望。

## 動物愛護 ~目指せ、殺処分ゼロ! 飼い主の終生飼養の徹底と多頭飼養崩壊対策~

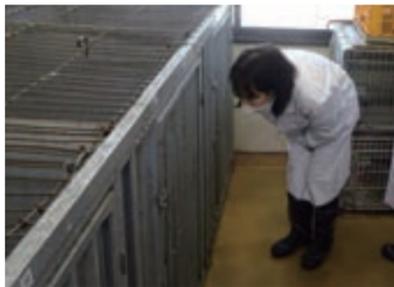
新型コロナの影響によりペットを飼う人が増えているという報道が相次いでおり、千葉県においても犬の新規登録頭数は令和元年度末が14,497頭、令和2年度末が15,444頭と約1,000頭増えています(猫は確認できる届け出無)。

### 千葉県における犬猫殺処分数

#### 過去5年間の犬猫殺処分数の推移

最多殺処分数は平成21年度の犬:2,641頭、猫:5,915頭であり、現在は約10分の1にまで減少している。

年度	H28	H29	H30	R元	R2
犬	181	273	222	180	116
猫	971	664	597	570	439



千葉県動物愛護センター視察

### 千葉県における犬又は猫の多頭飼育の届出の現状

- 平成27年度末が101件、令和2年度末で255件。5年間で約150件増加。
- 令和2年度の多頭飼育の飼い主に対する現地周辺環境の調査件数は55件、施設内立入調査件数は89件。

### 水野ゆうきの要望

- 安易に飼って飼育放棄等しないよう、SNS等を活用し県民に対し終生飼育等の周知徹底・広報啓発を!
- 遵守基準を満たしていない不適切な事業者に対しては、業務の停止、登録の取消し、刑事告発といった手段を効果的に用いて、迅速に厳しい対応を図ること!
- 多頭飼育崩壊について、虐待が疑われるような場合は早めに警察と連携すること!

### 水野ゆうき 主な役職

#### 千葉県議会議員(無所属系会派「千翔会」代表)

- ・県土整備常任委員会委員
- ・千葉県議会フリースクール等教育機会確保議員連盟 幹事
- ・千葉県議会スポーツ振興議員連盟 幹事
- ・千葉県議会地震・津波対策議員連盟 幹事
- ・千葉県立我孫子・湖北特別支援学校後援会顧問
- ・手賀沼水環境保全協議会顧問
- ・千葉県環境審議会委員(水環境部会担当)
- ・一般国道356号整備促進期成同盟顧問 他ホームページに掲載

### 水野ゆうき プロフィール

1983年2月19日生の39歳。我孫子市生まれ・育ち・在住。我孫子市立第四小学校入学、米国ロサンゼルス現地校編入。帰国後は茨城県私立茗溪学園中学校編入、同校高校卒。津田塾大学学芸学部国際関係学科卒。大手物流会社に入社し約3年間役員秘書として勤務後、民放テレビ局勤務(BSフジ「PRIMENEWS」担当)。2011年我孫子市議会議員選挙当選。2015年千葉県議会議員選挙初当選。2019年2期目当選。

水野ゆうきへのご意見・応援メッセージは公式ホームページまで  
<https://mizunoyuuki.com/>



## 千葉県議会議員(我孫子市選出・無所属)

無所属系会派「千翔会」代表

# 水野 ゆうき 39歳

水野ゆうきは県政・議会・議員の見える化を推奨しています。

### ゆう can change!

県議会・活動報告 vol.46

Blog <https://ameblo.jp/yuukimizuno/>

Facebook 水野友貴

Twitter @yuukitten



2月定例千葉県議会では、令和4年度当初予算案2兆1,772億65百万円(うちコロナ対応経費3,350億80百万円)について、水野ゆうきは予算委員会に登壇し52問の質疑を行いました。千葉県議会は「ロシアによるウクライナへの軍事侵略に対する決議」を全会一致で決議いたしました。

## 駅のバリアフリー設備整備 ~今後の見通し~

千葉県では高齢者や障がい者、妊産婦など誰もが安全で快適に鉄道駅を利用できるよう、1日の利用者数等、一定の条件をもとに鉄道事業者又は市町村が設置するバリアフリーについて補助を行っています。県の条件に合わない場合でも、市町村の財政状況や駅の特長(病院など社会福祉施設の最寄り駅等)、市町村との協議を行った上で、県民の命を守ること、事故防止を大前提にして必要性等の判断を進めるよう要望しました。

**我孫子駅**→エレベーターは令和5年度供用開始に向け整備中(県補助予定)。ホームドアは各駅停車ホームが令和6年度供用開始に向け我孫子市とJRで協議中。快速線ホームはJRの計画によると令和14年度末頃までに整備。

**天王台駅**→ホームドアは各駅停車ホームが令和5年度供用開始に向け我孫子市とJRで協議中。快速線ホームは我孫子駅同様、令和14年度末頃までに整備。

## 手賀沼の環境保全に向け予算確保!! ~新たな事業も開始!~

### 外来水生植物対策費1億27,744千円 継続

県による手賀沼とその流域河川におけるナガエツルノゲイトウやオオバナミズキンバイなどの外来水生植物の繁茂状況調査では約10万㎡生息していることがわかっており、この2年間で全体面積の4分の1の駆除が完了しています。森田知事時代から予算確保をしていますが、熊谷知事に直接予算要望を行うなど、積極的に働きかけを行っています。市民団体の活動も伝えながら令和4年度も予算を確保することができました。

**水野質問:** 令和4年度に予定している駆除計画の具体的な中身は? 駆除完了までの程度の期間を要するのか?

**県答弁:** 令和4年4月~10月の間に大津川河口部周辺など約1万8千㎡を駆除する予定。それにより繁茂面積の約45%の駆除を終えることになる。現在のペースで駆除を進めた場合、令和10年度を目途に完了する予定。



手賀沼の外来水生植物駆除作業視察

### 市民団体における外来水生植物防除事業補助 新規

市民団体が外来水生植物を駆除する活動に要する経費に対し、補助金が交付されます。対象経費は刈取を行う際の資機材の購入費・リース代、駆除業者への委託費等

です。ホームページ・ツイッター、手水協などを通じて周知する予定で、令和4年4月頃から募集を開始していくとの答弁がありました。 [「手賀沼の水質改善」に続く➡](#)

## 〈水質改善に向けて第8期湖沼水質保全計画始動 ~グリーンインフラ追加~〉

県はこれまで7期35年にわたり、手賀沼に係る湖沼水質保全計画を定め、総合的な水質保全対策を進めてきましたが、COD、全窒素、全リン、いずれの項目についても環境基準未達成という結果を受け、質疑を行いました。

**調査研究による課題と対策:** 水質改善の停滞は植物プランクトンの増殖による内部生産が原因で、近年では

年間を通じて珪藻類が多くを占めている。珪藻類の抑制が水質改善につながるため、珪藻類の増殖が顕著な時期の条件について新しい水質予測モデルを活用して詳細に解析し、効果的な対策の検討を進める。

また、水野ゆうきが訴えてきたグリーンインフラも活用し、水質浄化策に反映していくことになりました。

## 県立学校におけるICT活用 ~令和4年4月からBYOD<sup>※</sup>開始~

※BYODとは?…Bring Your Own Device の略で、生徒個人の所有する端末を授業に持ち込み、活用すること

千葉県では令和元年度から令和2年度にかけて高等学校普通教室ICT環境検証事業を実施した結果、校内の通信環境の不安定さ、家庭でのICT環境が様々である、教員のスキル不足等が課題として挙げられました。

### 水野ゆうきの訴え①

#### 安心・安定した通信環境を!

令和4年4月に全校整備に向けて、不正アクセスやウイルスなどへのセキュリティ対策や高速大容量通信に対応した新たな学習用ネットワークの構築を進める。

### 水野ゆうきの訴え②

#### 端末を所持していない生徒へ 端末整備と最大限の配慮を!

機器を所有していない生徒に対しては、県がタブレット端末とモバイルルータをそれぞれ11,100台整備し、貸与。

### 水野ゆうきの訴え③

#### ICTを使いこなせる 教職員育成

検証校での授業実践を報告する研修会を開催し、参加した教員がその結果を学校に持ち帰り普及を図ることと教員の資質向上を図る。

### 水野ゆうきの要望

- ① 値段の高い端末を持っている生徒と、そうではない生徒で経済格差によって差別等を生まない環境配慮。
- ② 生徒がついLINEやインスタを見てしまい、先生の話を聞き逃したという声があったので授業中の指導を。
- ③ 授業中に端末トラブル等が発生し、対処できずに貴重な授業時間がトラブル対応に終始してしまうことがないようにマニュアル作成を。

## 千葉県立高等技術専門校我孫子校の施設整備へ

中学校・高等学校を卒業して就職を希望しようとする方や再就職や転職をしようとする方などを対象に幅広い技能・技術を指導する職業能力開発校。千葉県が設置・運用しており、県内には我孫子校を含め5校あります。

### 【現状と課題】

我孫子高等技術専門校は、管理棟と3棟の実習棟があるが、このうち建築後50年以上が経つ2棟の実習棟は、耐震性の問題を抱えていることから、現在使用できず代替措置を講じて訓練を実施しており、その他の建物についても、建築後相当の年数が経過して老朽化が進んでいるなど、施設面での課題を抱えている。

### 【水野ゆうきの要望と今後の取り組み】

- 耐震性に問題のある造園科実習棟は、来年度に仮設実習棟の建設へ!
- 管理棟は県有建物長寿命化計画において令和9年度までに整備に着手することを目指す施設に位置づけ!
- スポーツ等で専門校を利活用している地域団体への配慮を要望!



立入禁止となっている実習棟を視察

## 子どもの福祉充実 ~児童の安心と保障のため家庭的養護推進~

### 〈児童相談所体制の充実〉

当時小学4年生だった野田市の女兒(県立柏児童相談所所管)が父親の虐待により死亡した事件から3年が経過しました。この事件を契機とし、県では児童相談所の抜本的な見直しを行い、印西市と松戸市に県立児童相談所新設を決定し、現在我孫子市を含む5市141万人を管轄する柏児童相談所については、管轄見直しを行い、我孫子市・流山市・野田市の3市48万人を管轄する新たな柏児童相談所が柏の葉の「さわやかちば県民プラザ」(開所予定令和9年度)に整備されることになります。開所までの間の取り組みと課題について質疑を行いました。



現在の千葉県立柏児童相談所を視察

### 【水野ゆうきが指摘している児童相談所が抱える課題】

- 令和2年度の千葉県内の虐待対応件数は過去最多の9,863件。そのうちの約27%にあたる2,597件が柏児童相談所管内で発生
- 一時保護所の定員超過
- 一時保護児童の学習環境
- 増加する外国籍児童の対応

### 【県の対策】

- 計画的に職員の増員を図り、保護期間の長期化に伴う一時保護所の定員超過については、職員のケースワーク能力の向上を図るための研修の充実や里親委託の推進など社会的養護の受け皿整備を進めていく。
- 学齢期の保護児童に対しては、各児童相談所に、教員資格を有する児童指導員や学習指導協力を配置し、学習到達度などを把握した上で、個別に対応する。
- 外国籍児童やその保護者への対応にあたっては、民間の通訳者派遣サービスや公用スマートフォンの翻訳アプリを活用し、コミュニケーションが円滑に図られるよう努める。

### 水野ゆうきの要望 ~時代とともに新たなニーズや役割が生じてくる児童相談所~

- 建て替えの際は近隣自治会のみならず市と協議し、幅広い住民説明会の開催を!
- やむを得ず一時保護期間が長期化する子どもについては、都道府県又は市町村の教育委員会等と連携協力を図り、就学機会の確保を!
- 言語のみならず子どもたちの持つ多様性や多文化背景を尊重する支援も重要。常日頃から民間サービスとの連携を広げ、基礎自治体等と密な連携を!

### 〈里親制度と養子縁組の推進〉

千葉県家庭的養護推進計画において、令和11年度までに千葉県の里親等委託率は40%、登録里親数は700組を目指すこととしています。里親登録者数は平成28年度の469組から令和2年度は585組と116組の増、里親等委託率は24.6%から30.6%と6.0ポイント増。里親の数は増加しておりますが、子どもを委託している里親の

割合はそこまで増加はしていない状況が課題の一つとして挙げられています。また、里親登録の増加に伴い初めて子どもを委託される里親も増え、里親が気軽に子育てに関する相談や委託された子供を適切に養育することができるよう支援強化を要望しました。

## 令和4年度「養子縁組民間あっせん機関助成事業」が開始! 新規

令和4年度から新規事業として「養子縁組民間あっせん機関助成事業」が始まり、県として県内養親希望者(養子縁組民間あっせん機関経由で養子縁組する場合)の負担軽減に向けた支援として手数料(全国平均約90万円)を

助成する事業を実施します。貧困や虐待、実親の病気など、実家庭で生活できない子どもは現在全国に約4万5000人います。水野ゆうきは親と暮らすことができない子どもが家庭的な環境で暮らすことができるよう支援しています。